

■ 2007年12月31日(月曜日)

県政フラッシュ 2007年

西川県政2期目スタート！

子育てや雇用、治安などの面で着実な成果を上げた1期目4年間の実績にさらに磨きをかけ、県民が自信と誇りを持てるふるさとづくりに努めました。

「県政フラッシュ」では、「福井新元気宣言」で掲げた4つのビジョン「元気な社会」「元気な産業」「元気な県土」「元気な県政」に沿って平成19年を振り返ります。

元気な社会

未来を託す教育・親しみ楽しむ県民文化

福井の実情に応じた教育を

本県独自の教育・文化の新たな振興策について検討する「教育・文化ふくい創造会議」を8月に設置。11月には総合的な学力や教員の指導力の向上策など10項目の第一次提言が出され、県ではできるものから実行していきます。

また、子どもたちにわかりやすい授業を行うため、小学校の理科授業で観察・実験を補助する理科支援員の配置や、教員の指導力向上のための「授業名人」の公開授業などを県内各地で行っています。



理科支援員のサポートによる観察や実験を多く取り入れた楽しくわかりやすい授業を実施

大学連携リーグが誕生

県内の大学・短大・高専が連携して研究や人材育成に取り組もうと、「大学連携リーグ」が誕生。地域に貢献するような共同研究等に対して県が支援するほか、大学の教員らによる小中学校での課外授業も行われています。

世界陸上ギリシャチームがキャンプ

世界陸上大阪大会のギリシャ代表チームが8月に本県でキャンプを実施。期間中、練習見学会や技術指導なども行われ、県民の皆さんがトップアスリートの世界に触れる貴重な機会となりました。

いつでも身近に福井の文化

9月に県立音楽堂が開館10周年を迎え、記念イベントを開催。県内の音楽家約1,000人が参加し、合唱やオーケストラ等で節目の年を盛大に祝いました。また、本県出身で漢字・文字研究の第一人者・白川静先生の一周忌に合わせ、先生が確立された「白川文字学」により親しんでもらうためのフォーラムを10月に開催しました。

食育推進全国大会を開催

6月9日・10日の2日間、「健康長寿な福井から全国に広げる食育の輪」をテーマに食育推進全国大会をサードホール福井で開催。約1万7,000人が来場し、食育先進県・福井を全国にアピールしました。また、全国の高校生を対象に初の食育王選手権も行われ、武生東高校チームが見事優勝しました。

女性活躍社会

女性の元気で女性活躍社会

女性の意見を県政に活かそうと、様々な分野で活躍する女性と知事が意見交換を行う「女性活躍会議」を7月から実施。また、8月には「ふくい女性活躍支援センター」を設置しました。キャリアアップやリーダー養成のための研修、働く女性たちのネットワークづくりなど、女性が活躍する社会づくりを推進しています。

県民みんなで子育て支援

妊娠中の方や子ども連れの家族を優先し、子育てにやさしい社会をめざす「ママ・ファースト運動」がスタート。優先スペースの設置や子育て世帯を対象にした割引サービスの実施など、企業や県民の皆さんと協力しながら子育てを応援していきます。

イキイキ・長生き「健康長寿」

子ども療育センターなど4施設オープン

県立病院の隣に整備が進められていた「子ども療育センター」「県立看護専門学校」「福井東養護学校」「特別支援教育センター」が5月に開業。医療、福祉、教育が緊密に連携し、より質の高いサービスを提供していきます。

がん予防・治療日本一に向けて

高水準のがん治療拠点として来年度中に県立病院内に設置予定の「がん医療推進センター(仮称)」の整備計画の検討が進んでいます。また、多くの方に検診の大切さを知っていただくため、今年からショッピングセンター等で出前がん検診を始めました。



県内各地で行われている出前がん検診

「笑い」で健康づくり

新たな視点での健康づくりとして、「笑い」に着目。9月には「笑い」の医学的効用について、保健・医療関係者向けの研修会を開催。また、今月、一般の方を対象に笑いの研究で有名な関西大学と連携して「関大ふくい笑い講」を行うなど、心身両面での県民の健康づくりに取り組んでいます。

献血運動推進全国大会 開催

7月4日、本県では初めてとなる献血運動推進全国大会を開催。皇太子殿下のご臨席のもと、献血への理解と協力を全国に訴えました。

約1年9か月ぶりのご来県となる皇太子殿下は、県内各地をご視察に訪れ、多くの県民の歓迎を受けられました。



児童と一緒に和やかに給食を楽しめる
皇太子殿下(鯖江東小学校)

みんなの手によるあたたか福祉

「共動福祉社会」の実現

県民と行政が一体となって社会的に助けが必要な人たちを支えるため、10月にボランティアの総合窓口「ボランティア・カフェ」を設置。また、活動実績に応じたポイントを県の施設入場券と交換できる制度も始まり、ボランティア活動の輪がさらに広がることが期待されます。

バリアフリー社会の推進

障害者用駐車場を本来必要な方に使っていただけるよう統一看板の設置と利用証を発行する本県独自の制度をスタート。あわせて、子ども連れの方などの優先駐車スペースも設けました。譲り合いの心で、適正な利用をお願いします。

一人ひとりの命が輝く福祉対策

障害者自立支援法の円滑な実施のため、利用者負担の軽減や事業者の収入減少分を補てん。また、人工呼吸器を装着した難病患者の一時入院支援制度も始めるなど、在宅で介護する家族の負担を軽減しています。



お店や公共施設の出入り口付近に設置されている統一看板

日本一の安全・安心をめざして

「福井治安向上プラン」の実行

平成15年から取り組んできた「治安回復プラン」を発展させた「治安向上プラン」を4月に策定。暮らしの中で治安の向上を実感できるよう、子ども・女性・高齢者を守る対策の強化や、飲酒運転の取り締まりの徹底などを進めています。

子どもたちの安全・安心のために

登下校時の不審者や交通事故から子どもたちを守ろうと、「子ども安心3万人作戦」を展開。各地で地域の皆さんに子どもの見守り活動にご参加いただいています。また、学校の防犯カメラやフェンスなどの設置、防犯パトロール活動用の資材購入などの費用を助成し、安全安心のための地域活動を支援しています。



見守り活動に参加する西川知事

地震を想定した総合防災訓練を実施

今年発生した新潟県中越沖地震など、いつ起こるか分からない自然災害に備え、県では防災体制を強化。8月には県民や関係機関などが参加し、震度7の地震を想定した県総合防災訓練を実施。初の大規模トリアージ（負傷者搬送の優先順位などを決めること）や、災害情報ITシステムを活用した訓練などを行いました。

元気な産業

地域を支え世界に広がる福井の産業

「実は福井」の技inTOKYO 開催

11月に東京の伊藤忠商事?で、県内の企業と団体が参加し、優れたものづくり技術を紹介する商談会を開催。新たなビジネスチャンスを得る好機と首都圏から多くの企業が訪れました。



福井の優れた技術や製品を首都圏の企業にアピール

JAL機内で福井をPR

健康長寿ふくい?のPRとふくいの食の販路開拓のため、日本航空とタイアップ。6月1日から1か月間にわたって同社の全ての国内線の機内で恐竜や越前がになどを紹介したビデオの上映や、成田空港JALラウンジ内での県産品のPRなどのキャンペーンを展開しました。

エネルギー研究開発拠点化計画のスケールアップ

原子力関連技術を産業の振興や人材育成などに活かす「エネルギー研究開発拠点化計画」。今年はアジア諸国の研究者との交流や指導者向けの講習会を開催しました。また、11月の推進会議では、広域の大学連携拠点やレーザー、新エネルギーの研究機関の本県への設置などの取組み方針が示され、今後の着実な推進が期待され

ます。

企業と協力して福井をPR

本県の活性化のため、企業とも積極的に協力。3月に(株)ローソンと包括的連携に関する協定を結び、各店舗が子育て応援などの地域貢献活動に取り組む「一店一協運動」を展開しています。また、7月には麒麟ビール(株)とも協力協定を締結し、県産品を使った商品を全国にアピールするなど、県産食材の地産外消を進めています。

原油高を受け緊急対策を決定

今月、原油や原材料の高騰による経済環境の変化を踏まえ、中小企業者等を支援するため、県独自に緊急的な対策を決定。年明けの1月7日から実施します。

売上げや利益の減少で資金繰りが悪化している中小企業や漁業者等を対象に、新資金の創設や融資枠の拡大、融資要件の緩和を行うとともに、相談窓口の充実を図ります。

また、生活に関連した物資の価格調査を行い、結果を速やかに公表するなど、便乗値上げが生じないよう監視を強めます。

関係機関とも連携し、今後も状況を見極めながら、必要な対策を進めていきます。

山間地・都市近郊農地でのアグリサポート

山間地や都市近郊など農地の集約が難しい地域で農業生産を維持・拡大していくため、アグリサポーターが農作業を請け負うなどの本県独自のサポート体制を創設。また、全市町で「地域農業サポートプラン」の作成を始めました。

全国植樹祭の準備始まる

平成21年春に本県で開催される「第60回全国植樹祭」に向けて、7月に実行委員会を設立。現在、植樹祭で使う苗木を各家庭で育てていただく苗木のホームステイをはじめ、県産材の積極的な利用や花木の植栽などの県民運動を展開しています。



シンボルキャラクター「ふっくりん」が県内各地でPR活動を行っています

がんばる海業

漁村の活性化のため、観光客が漁師の宿に泊まって海の幸と漁業体験を両方楽しめる「漁家民宿」を支援。また、本県の特産品で健康長寿食の「へしこ」をPRしようと、へしこフェアやスーパーでのへしこ料理試食会を開催。福井ならではの海の幸を県内外にアピールしています。

元気な県土

高速交通時代のにぎわい交流まちづくり

進む中心市街地の整備

4月、福井駅東口に商業ゾーンと公共施設が一体となった都市型複合施設『AOSSA(アオッサ)』がオープン。10月には福井駅西口駐車場が開業し、幸橋が全面開通しました。また、福井駅西口開発に関する都市計画も決定し、来るべき新幹線時代を迎える県都の賑わい創出に向け、着々と整備が進んでいます。

中部縦貫自動車道の一部区間開通

国の中期的な道路計画の素案で「真に必要な道路」と確認された中部縦貫自動車道。3月には永平寺西ICー永平寺東IC間が開通し、上志比・勝山間も来年度中には開通する予定です。

越美北線全線運行再開

平成16年7月の福井豪雨で五つの鉄橋が流され、一部不通となっていたJR越美北線が6月から全線で運行を再開。全線復旧を契機に、より多くの皆さんの利用が期待されます。



新しく架け替えられた橋梁を走る記念列車「おくえつ号」

北陸新幹線県内整備実現に向けて

今年は県内各地で建設促進大会が開かれるなど早期整備の実現に向けた機運が盛り上がりました。今月14日には、政府・与党が検討委員会を開催。新たにワーキンググループ(作業部会)を設け、年度末までに財源確保にめどをつけて、新規着工区間の結論を得るよう全力で取り組むことで合意しました。早期に整備スキームが見直され、敦賀までの整備方針が明確に示されるよう、引き続き、県内一丸となって熱意を伝え、早期整備を実現しましょう。



10月にあわら市で開催された北陸新幹線建設促進 福井北の玄関口大会

元気な県政

夢と誇りのふるさとづくり

継体大王即位1500周年

福井県ゆかりの継体大王の生い立ちや業績について理解を深め、ふるさとへの誇りを高めようと、年間を通じて県内外で記念行事が繰り広げられました。9月には県の実行委員会が継体大王即位1500周年物語を開催。子どもたちの研究発表や歴史フォーラムなどが行われました。



県内外の継体大王ゆかりの地域の子供たちが研究成果を発表

「ちりとてちん」放送開始

福井県を舞台にした初のNHK連続テレビ小説「ちりとてちん」が10月から放送開始。JR小浜線では土日祝日に臨時列車が運行され、ロケ地めぐりのバス巡回や旅行ツアー、若狭塗箸の体験など様々な企画を楽しみに、多くの観光客が訪れています。

福井の恐竜 世界に発信！

4月には国内初となる恐竜の皮膚痕化石を発見。今年から始まった第3次発掘調査では、国内最大級の竜脚類(大型草食恐竜)の上腕骨など貴重な化石が数多く発見されています。11月からはタイにおいて同地の研究機関と共同で調査・研究を実施。福井の「恐竜」を世界

に発信しています。



タイでの共同発掘調査

自主・自立の福井県政府を目指して

皆さんの善意を県の施策に活用させていただく「ふるさと貢献」活動。専用ホームページを開設し、参加を呼びかけています。10月には「ふくいふるさと債」を発行し、皆さんのご協力により完売。今月からはクレジット決済による寄付も可能となりました。

また、本県の提案に沿った形で「ふるさと納税」制度が与党の税制改正大綱に盛り込まれました。今後とも知事と市町長との政策懇談会等により、市町との連携を進めながら、自主・自立の地方自治を目指します。

 **BACK**